

“スマート”提案事業推進委員会（第4回）まとめ

- 1：日 時 平成25年4月12日（金）午後7時から8時30分
2：ところ 西成公民館 1階小会議室
3：メンバー 信安紀彦（西成） 寺澤市彦（浅野） 松本晃典（赤見）
吉田尚明（西成） 前田敏勝（瀬部） 熊崎 仁（西成）
鵜飼一雄（西成） 玉腰嘉行（西成） 熊澤良嗣（瀬部）
安藤久雄（赤見） 高瀬所長 = 出席

4：配付資料

- ・4月に一宮市に提出した事業計画書と補助金等申請書の内容文書
- ・パンフレット見本
- ・住民への説明文（案）

5．協議内容

上記事業計画および補助金等申請書内容の再確認

今後のスケジュールの確認

<パンフレットについて>

- ・パンフレット文言などの最終確認
- ・パンフレットなどの森安印刷への発注・・・4月15日におこなう
（5月15日までに納入してもらう）
- ・リスタルパック封筒への袋詰め作業は5月20日以降におこなう・・・6部会
にも協力要請し6月15日までに完了させる
- ・上記の封筒を6月末までに各学校に届ける

[担当]

瀬部小・西成小・・・熊澤、前田、鷺津

西成東部中・西成東小・・・玉腰、鵜飼

赤見小・浅野小・・・松本、寺澤、梶浦

西成中・・・信安、江口、安藤（朝礼で説明；後日山内校長と打合せする）

<住民への説明文について>

- ・文言、レイアウトなど一部修正
- ・印刷用紙はA4，薄いピンク色とする
- ・4月23日の町会長協議会（＝地域づくり説明会）で配布する

次回（第5回スマート推進委員会）の開催

日時：5月15日以降

内容：クリスタルパック封筒への袋詰め作業など

“ぐるりん”提案事業推進委員会（第4回）まとめ

- 1 日 時 平成25年4月9日（火）午後7時から8時15分
2 場 所 西成公民館1階小会議室
3 メンバー ○原 誠完（瀬部） ○原 繁雄（瀬部） ○小島辰夫（西成）
○増田卓史（西成） ○櫻井征夫（西成） ○吉田光良（赤見）
○松浦光三（赤見） ○山田 栄（赤見） ×本地宗治（浅野）
×岸 正男（浅野） ○熊澤良嗣（瀬部） ○信安紀彦（西成）
○安藤久雄（赤見） ○宮本和彦（三井堂印刷営業部長）
○江口英機（司会・浅野） ○高瀬所長) =出席

4 配布資料

1. ぐるりんマップ掲載候補地リスト（A3-2枚、164カ所掲載）
2. 連区地図（一宮市基本計画図）

5 協議事項

連区地図に記載の番号は記載候補地ごとに瀬部、西成、赤見、浅野の順に通し番号とする。

連区地図に掲載候補地の番号を校区ごとに各委員が落とし込む。

次回委員会開催時に提出

【新般若用水、時之島排水路、巡見街道...瀬部 大江川...西成 千間堀川...赤見、
名鉄一宮線...浅野 校区区分...熊澤 探検コース、連区外...江口】

校区外ランドマークとして市民会館を追加

説明文に、神社の祭神・寺院の山号及び本尊は掲載しない（宗派は掲載する）

千間堀川も説明文を掲載する。

地図面への写真掲載候補を校区ごとに8カ所ノミネートして、次回に発表する。

連絡事項

各校区の推進委員から本日提出された説明文を入力、修正した掲載候補地リストと共に印刷して4月下旬に各委員に送付する。これに各自加筆修正し地図と一緒に次回持参。

次回（第5回ぐるりん推進委員会）の開催

日時等：5月20日（月）19時から、西成公民館1階小会議室

“美化”推進委員会（第3回）まとめ

- 1 日 時 平成25年4月15日（月）午後7時から8時15分
2 場 所 西成公民館1階 小会議室
3 メンバー 磯貝久男（赤見） 関戸 進（西成） 若山 豊（浅野）
原 幹博（瀬部） 大平武輝（瀬部） 小林一一（浅野）
熊澤良嗣（瀬部） 江口英機（浅野） 信安紀彦（西成）
高瀬所長(事務局) = 出席

4 配付資料

- 1．事業の概要（事業と経費計算書）
- 2．適地調査報告用紙
- 3．啓発広報ピラ（写真入り説明文）

5 協議内容

- 予算要求積算内容の点検（事業内容・積算内容の点検）
平成25年9月末日までに市に提出する
26年度事業展開のうえでの留意事項

ア) どのように働きかけるか

啓発文案・適地報告書（上記の配付資料）

町内会、子ども会、登下校見守り隊、PTAなど

イ) その他この提案事業の留意すべき事項は？

（結論）

積算内容の議論にならず、前回と話題が重複した感あり。予算要求の積算の具体的な検討は次回以降とし、先に配布した通学団の集合場所・コース図を参考に現地に出向いて「にしなりビューティフル・ウィンドウズ運動」に合った適地であるかどうかを、メンバーが各校区ごとに調査・報告することに決定した。

調査期限 6月10日の生活環境部会までに

ウ) その他出された意見を以下に列記する。

26年度限りの運動でいいのか。継続性が必要ではないか。

どのように この運動 を地域住民に伝えるか。（適切な講師が得られれば講演会の開催も一つの方策か）

通学路に限定する必要はないのではないかと。地域全体の美化・見守りの風土作りに着目する必要がある。通学路に花 は一訴求力をねらったものであり、これに限らず、地域の美化活動・見守り活動の促進に資すれば良い。

道路に面したところに 花 などが飾られる風土を作り上げるため、素晴らしい実践活動を表彰する制度 も一方策となる。

190の通学路の何割ほどにプランターが設置できるか、かなり難しいのではないか。(とにかく、現地調査が必要)

呼びかけをしても、内容が具体的でないとなかなか伝わらない。

夏場の花の管理は大変で、協力者の確保が難しいのではないか。

啓発活動を本年度中にやり、ある程度の筋道をつける必要がある。実際に会って話すなど、個別的にアプローチすることが必要。

否定的なことではなくて、実施するためにどうするかだ。

モデル地区を募集して集中的に実施することも一つの考えだ。

一集合場所にプランター2つが原則であるが、協力者数など設置箇所の数により配分できるプランターの数を決まる。状況次第である。

前回と同様の意見が多く、堂々巡りをしているようで話がなかなか前に進まない。タイムスケジュールを決めて取り組む必要がある。

机上の議論でなく、先ず適地の実態把握が重要ではないか。

いろいろな機会をとらえて協力を得られるように啓発活動を進める。

(町内会、子ども会、PTA、老人会、見守り隊など)

独居老人等への花苗の配布は、計算上700世帯を超える。花以外に警笛などを配布して、見守り活動の一環とするような変更も考える。

花の苗、プランター、培養土等の配布場所は小学校などの協力を得て、そこを拠点とすることになるのではないか。

運動の趣旨に賛同する協力者を募集し、その提案をうけて事業者に「関係必要経費」を交付するという手法は可能かどうか。

以上は、事業内容に反映できるかどうか今後急ぎ検討を加える。

6 次回(第4回美化推進委員会)の開催

日時等：6月10日(月)19時から、1階小会議室

「生活環境部会」の前田部会長と連絡調整し合同会議とする。

“防災”推進委員会について

今回は実施せず。今月の「安心安全部会」において開催日を決定する。